

第33回日本高齢者大会in福島 講座分科会・夜の企画・移動分科会のご案内

学習講座・分科会 9月26日(木) 午前9時～12時 学習講座は前半9時～10時25分(15分休憩) 後半10時40分～12時5分

	ホテル	会場	定員			テーマ・内容	講師・助言者・報告者
1	ほっと あたま	多目的ホール	300	第1教室	前半	3/11から8年。福島は今・原発の今	伊東 達也 原発問題住民運動全国連絡センター筆頭代表委員
					後半	原発ゼロ自然エネルギーへの転換へ	吉原 毅 原発ゼロ自然エネルギー推進連盟(原自連)会長・城南信用金庫顧問
2	ホテル 華の湯	風の杜1	200	第2教室	前半	情勢と憲法9条守るたたかいの現段階	小森 陽一 9条の会事務局長・東京大学名誉教授
					後半	ジェンダー法学者から見た自民党改憲案・福島から9条守る	二瓶由美子 桜の聖母短期大学前教授・憲法をいかす福島県民の会よびかけ人代表
3		風の杜2	200	第3教室	前半	辺野古のたたかいの現局面と新基地建設阻止へ向けて	稲嶺 進 前名護市長
					後半	沖縄と全国の基地をめぐる現状とたたかい	小泉 親司 平和問題研究家
4		華胥(かしよ)1	180	第4教室	前半	後期高齢者医療負担2割化許すな 全世代型社会保障の正体	是枝 一成 全日本民医連事務局次長・中央社協事務局次長
					後半	現役世代含む今日の年金問題	廣部 正義 健康と年金懇話会会長・元全厚生労働組合副委員長
5		華胥(かしよ)2	180	第5教室	前半	高齢者にとつての「つながり」の大切さ	村山 洋史 東京大学高齢社会総合研究機構特任教授
					後半	班会参加組合員の健康度調査と「つながり」の大切さ	馬場 康彰 日本医療福祉生活協同組合連合会常務理事
6		花舞	160	第6教室	前半	消費増税の大罪～会計学者が明かす財源の代案	醍醐 聡 10月消費税10%ストップ!ネットワーク呼びかけ人・東京大学名誉教授
					後半	農業の 原発被害賠償求めて 家族農業にとりくむ	根本 敬 福島県農民連会長 菅野正寿安達地方農民連東和支部長
7		遊舞	150	第1分科会		前進する高齢者人権条約の制定への動き 高齢者憲章の発展を	井上 英夫 金沢大学名誉教授 国連ワーキングG参加者 福島県南地域連絡会
8		楽舞	70	第2分科会		生保・国保めぐる情勢と憲法25条活かすたたかい ～社会保障・社会福祉は国の責任で	山本 淑子 関根 未希 (国保問題～手遅れ事例調査結果含めて) 全日本民医連事務局次長 (生保問題) 福島市あぶくま法律事務所弁護士
9		けやき	48	第3分科会		口の健康と口腔フレイル予防	中澤桂一郎 「保険で良い歯科診療を」全国連絡会世話人・医療福祉生協連連歯科委員長
10	清稜山	清明	72	第4分科会		地域で手をつなごう～たまり場・ふれあいの場づくり	郡山医療生協 居場所づくりの経験 小野支部・とみた支部
11	倶楽部	清明	63	第5分科会		自治体と一緒にすすめるまちづくり 人口減少の中で	今西 一男 福島大学教授 武田孝一「大いなる田舎」大玉村元福祉環境部長
12		清新	72	第6分科会		高齢者の社会参加に不可欠な「あし」の確保	可児 紀夫 愛知大学非常勤講師 福島から二本松市・福島市の報告
13		清新	63	第7分科会		高齢期の働きがい・生きがい	佐藤 嘉夫 佐久大学副学長・岩手県立大学名誉教授

夜の企画 9月25日(水) 午後7時半～9時

	ホテル	会場	定員		テーマ・内容	講師
1	ホテル	風の杜1	200	夜の企画①	松川事件70周年	今野 順夫 福島大学名誉教授・元学長
2	華の湯	風の杜2	200	夜の企画②	全国の前発被害者のたたかい交流	各地原告団 中島孝生業訴訟団長 浪江町津島原告 群馬訴訟原告団
3		華胥1	180	夜の企画③	戊辰会津戦争の歴史講座	伊藤 洋 平和のための郡山戦争展事務局長
4		華胥2	180	夜の企画④	「終活」について考える	遠藤 喜恵 NPO法人市民後見サポートの会(福島市で最初の成年後見人)
5		飲食処・風太郎	120	交流①	福島のリキ酒 参加費1000円	郡山酒造協同組合の6種類の酒 渡辺康弘理事長
6		ラスベガス	120	交流②	うたごえ広場 参加費1000円	郡山合唱団

移動分科会 9月26日(木) 午前8時～午後3時

1		事故原発周辺 巡る	270		バス6台 磐梯熱海午前8時発 郡山駅午後3時到着予定 参加費2000円 主な見学地 富岡町・浪江町・檜葉町宝鏡寺 2台ずつ3コース 受付は8/1～	ガイド 福島実行委員会・浜通り医療生協
---	--	--------------	-----	--	--	---------------------

(上記は5月20日現在のものです。講座分科会のテーマ名称が変わる場合があります)